

月信

GOVERNOR'S
Monthly Letter



Rotary

International
District

2740

VOL. 2

2025.8

2025-26 年度 ガバナー月信



中島 潔 作「夏の夢」

国際ロータリー第2740地区 2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦



よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ

未来へ^{つむ}紡ごう ロータリーの価値！

2025-26年度 国際ロータリー第2740地区 地区テーマ

Index

国際ロータリー会長 略歴とメッセージ	1
Governor's message No.2	3
ガバナーノミニー（2027-28年度ガバナー）選出の報告	4
ガバナーエレクト事務所 開設のご案内	4
地区委員長挨拶	5
第2740地区 職業奉仕委員会新聞	14
地区大会のご案内	15
からつ勘右衛（かんね）話・編集後記	裏表紙

※誤字脱字以外は寄稿者の意向を尊重し原文のまま掲載しております

国際ロータリー会長 略歴とメッセージ

2025-26年度R1 会長
フランチェスコ・アレツツォRagusaロータリークラブ
(イタリア ラグーザ)

〈フランチェスコ・アレツツォ RI会長プロフィール〉

矯正歯科の開業医で、イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活躍。ラグーザ県の National Association of Italian Dentists の副会長であり、National Trust for Italy 創設者として同団体で7年間ラグーザ県を代表。マルタ騎士団で名誉と献身の騎士となっている。

30 年来のロータリー会員であり、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理を歴任。ロータリー財団のメジャードナーならびにベネファクター。観光業界の起業家であるアナ・マリア・クリシオーネ夫人との間に二人のお子さんがいる。

〈親愛なる友人の皆さま〉

2週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行きの飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：よいことのために手を取りあおう。シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナー

シップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーではより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てみましょう：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあつという間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、末長いインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました。人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

Governor's message No. 2

“生き生きと活動するロータリー！！”

2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦

今月は、会員増強・新クラブ結成推進月間です。

ロータリーにとって会員増強とは何か！新クラブの結成にどういう意味合いがあるのか！ちょっと大上段に構えてみました。組織であり団体であれば、先ずは念頭に置かなければならないことです。“成長か衰退か”とも言われます。しかしながら仲間を増やすことが如何に大変なことか、会員皆様は肌身に感じておられることでしょう。その努力を続けながら、前へ進んでいただいております。

仲間を増やす、ロータリーの輪を広げていく、このことが世界平和につながっていることを、私たちは、臆することなく実感していいのだと思います。理想があるから夢を抱ける。私たちは、自分自身の人生をロータリーで学び、そして小さな一歩ずつを積み重ねながら、「世界理解・親善・平和」を希求しております。

会員の増強、このことについて、いろいろなご意見があると思います。大きな運動体であるロータリークラブの宿命として、ロータリーを衰退から守る唯一の方策は、会員増強なのです。それに伴って、新クラブの結成にも汗をかかなければなりません。活動の幅、奥行き、方向性を、多面的に展開することによって、ロータリーの未来を創り上げていきましょう。ロータリークラブを中核として、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、衛星クラブ、特定分野に特化したクラブ、ローテックス（ロータリー青少年交換プログラム帰国後のつながり）等々当地区でも大きなうねりが起きています。勿論乗り越えなければならないことがたくさんあります。しかしながらやりきるしか未来は開けません。新しい息吹は、私たち全てに元気を与えてくれます。会員皆様方の情熱に感謝申し上げます。必ずやろうと思えばできます。思いは必ず実現します。そのように行動するからです。断言できます。大いに語り合しましょう。

ガバナーノミニー（2027-28年度ガバナー）選出の報告

地区指名委員会より、協議のうえ、指名委員の賛同で 2027-28 年度のガバナー候補として合瀬一男君（神埼ロータリークラブ）を指名した旨、報告を受けました。国際ロータリー細則第 13 条の規定により、ガバナーノミニーとして合瀬一男君の選出が確定したことをご報告いたします。

2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦

おお せ

合瀬 一男 （神埼RC）

1951年2月27日生まれ
精密部品製造
(株) 合瀬製作所 代表取締役

■ロータリー歴

- ・2006年4月 神埼ロータリークラブ入会
- ・2011-12年度 神埼ロータリークラブ幹事
- ・2014-18年度 神埼ロータリークラブ会長
- ・2021-25年度 クラブ会計
- ・2021-26年度 米山記念奨学委員会委員



ガバナーエレクト事務所 開設のご案内

国際ロータリー第 2740 地区
ガバナーエレクト 中島健太郎
次期地区幹事 米濱 誠二

国際ロータリー第 2740 地区ガバナーエレクト事務所を下記の通り開設致しました
何卒、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます

- ◆事 務 所：〒856-0832 長崎県大村市本町 458 番地 2 中心市街地複合ビル 1 階
- ◆T E L：0957-51-6439
- ◆F A X：0957-51-7054
- ◆E-mail：ri2740knakashima@octp-net.ne.jp

※メールアドレスは変更になっていますのでご注意ください

- ◆執務時間：10：00～16：00（月・火・木・金）

※水曜・土曜・日曜・祝日は休ませていただきます

- ◆事 務 局：宮田真由美・平野郁子・川口文子

地区委員長挨拶

RLI 推進委員会委員長

山本 正樹

佐賀南 RC



今年度 RLI 推進委員会委員長を拝命いたしました山本正樹と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

RLI は、ロータリーの理念を深く理解し、リーダーシップスキルを高めるための重要なプログラムです。私たちの地区においても、RLI を通じて多くの会員がリーダーとしての資質を磨き、地域社会に貢献する力を身につけてきました。本年度もさらに多くの会員がこのプログラムに参加し、リーダーシップの重要性を実感できるよう努めてまいります。

私たちの地区は、さまざまなバックグラウンドを持つ会員で構成されています。この多様性は、私たちの強みであり、RLI を通じて異なる視点や経験を共有することで、より豊かな学びの場を提供できると信じています。私たちの目標は、単にリーダーを育成することだけではなく、ロータリーの価値観を広め、地域社会における影響力を高めることです。

今後の活動においては、以下の3つのポイントを重視していきたいと考えています。

- ① 参加の促進: RLI プログラムへの参加を促進し、より多くの会員がリーダーシップのスキルを学ぶ機会を提供します。特に次年度会長幹事、また新入会員や若い世代に対して、積極的な参加を促します。
- ② ネットワークの構築: RLI を通じて築かれるネットワークは、会員同士のつながりを深め、地域社会での活動をより効果的にするための基盤となります。例会での卓話やファシリテーションを開催し、意見交換や情報共有の場を設けます。
- ③ 持続可能なリーダーシップの育成: リーダーシップは一過性のものではなく、持続可能なものであるべきです。私たちは、次世代のリーダーを育成し、地域社会における持続可能な発展に寄与することを目指します。

最後に、私たちの活動が地域社会にどのような影響を与えるかを常に考え、行動していきたいと思っています。皆様と共に、RLI を通じて新たなリーダーを育て、ロータリーの理念を広めていくことができることを心から楽しみにしています。

クラブ管理運営
会員増強 委員会委員長

久保 泰正

諫早西 RC



皆さん、こんにちは。

2025-2026 年度が始まり、新たにクラブ管理運営委員会および会員増強委員会の委員長を務めさせていただくこととなりました、諫早西ロータリークラブの久保泰正です。

昨年度は、会員増強委員会の活動に対し、皆様より多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。本年度も引き続き、皆様と共にロータリークラブのさらなる発展、そして第 2740 地区ならびに地域社会への貢献に取り組めることを、大変うれしく思っております。

昨年度は「クラブの活性化」と「会員増強」を大きな目標に掲げ、各クラブの実情に寄り添いながら、さまざまな施策を展開してまいりました。なかでも、昨年9月21日に実施した「クラブ活性化セミナー」は、会員増強委員会のみならず、クラブ管理運営委員会、公共イメージ委員会、ロータリー財団委員会との連携により、大きな成果を上げることができました。本年度は、こうした取り組みをさらに発展させ、より具体的で実効性のあるプログラムを通じて成果を上げることを目指します。

まず、「3-Year Rolling Goals」の達成に向けて、「クラブサポートミーティング」プログラムを推進し、クラブ活性化の内容を一層充実させるとともに、ロータリーの魅力を広く発信してまいります。

また、地区内の各委員会との連携をより一層強化し、各クラブのニーズに即したプログラムやセミナーを実施することで、新たな会員の入会促進とクラブの活性化を図ってまいります。

皆様からのご意見やご提案を積極的に取り入れながら、共により良い未来を築いていくための取り組みを進めてまいります。私たちのロータリークラブをさらに発展させ、地域社会における影響力を高めていくために、どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

衛星クラブ小委員会委員長

渡会 祐二

佐世保北 RC



地区衛星クラブ小委員会（昨年度新設）の委員長を拝命しました、佐世保北 RCの渡会祐二（わたらい ゆうじ）と申します。2年目となりますが、どうぞよろしくお願い致します。

衛星クラブについては、昨年度の石坂ガバナーの目標にも掲げられ、公式訪問等においてもご説明がなされておりますが、衛星クラブとは、ロータリークラブの新しい形態で、スポンサークラブに属するクラブのことです。衛星クラブの会員は正式なロータリアンであり、スポンサークラブの会員です（衛星クラブの会員数は、スポンサークラブの会員数に加わります。）。衛星クラブは、スポンサークラブの支援を受けて設立され、8名以上の会員で成立します。詳しくは、ロータリーの友2021年8月号や、ガバナー月信2024年3月号などをご覧ください。

第2740地区では、佐世保北RCがスポンサークラブである「佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ」、および長崎みなとRCがスポンサークラブである「長崎みなとDown To Earthロータリー衛星クラブ」（昨年度設立!）の2つの衛星クラブがあります。地区内で衛星クラブが増えれば、その交流も楽しみです。

衛星クラブが設立され、その活動に触れて感じることは、単にメンバーが増えたということだけでなく、衛星クラブの存在がスポンサークラブの刺激・活性化にも繋がっているということです。

今年度、石坂ガバナーは、地区重点項目の一つに「ロータリーの輪を広げよう」を掲げられ、衛星クラブの設立と活動は、ロータリーの輪を広げる活動の中でも大切な未来の戦略です、と述べておられます。ガバナーのご意向を実現できますよう、新しい衛星クラブ設立・運営の支援・サポートを行っていきたいと存じます。皆様のクラブも、ぜひ、衛星クラブ設立をご検討いただければ幸いです。

それでは、一年間、どうぞよろしくお願い致します。

公共イメージ委員会委員長

公門 新治

佐世保北 RC



今年度、公共イメージ委員長を仰せつかりました。佐世保北RC公門（くもん）です。ロータリー歴は10年です。公共イメージ委員会では立ち上げ時より委員として8年間活動させていただきました。委員長としては今年度が最後の年となる3年目となります。1年間宜しくお願い致します。

人びとが「ロータリー」と聞いて思い浮かべるイメージ、それがロータリーの「公共イメージ」です。「ロータリーを知っている」という認知は出発点にすぎません。ロータリーの公共イメージは、会員の行動や、クラブが実施する活動とそのインパクトによって形づくられます。

公共イメージが強く、好ましいものであれば、クラブにも多くのメリットがあります。ロータリーへの認知と理解を高めることで、入会への関心が高まり、会員としての誇りが生まれ、人びとが参加・寄付し、数多くの団体の中でクラブが際立った存在となります。

ロータリーでは、個々の会員がブランドの推進者となります。「世界を変える行動人」とであるということを忘れずに活動しましょう。具体的には以下のような活動を行います。

- ・ソーシャルメディアやその他のメディアを通じて情報を発信する
- ・ロータリー外へのコミュニケーションを行う
- ・ブランドリソースセンターを活用する
- ・奉仕事例、学友の活動など、ロータリーの活動について、多くの人びとに伝える

DX小委員会と連携して、地区公式HPの運営も行っています。各委員会セミナー等での資料や各クラブ奉仕事例の掲載も随時お待ちしております。また、ポリオデーのイベント協力も継続して、公共イメージ向上に繋がたいです。当委員会は単体では機能しにくいので、各部門と連携して活動したいと思います。会員の皆様にはご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

DX 小委員会委員長

原田 徹

雲仙 諫早南 RC



皆様こんにちは。DX小委員会の委員長を拝命しました原田 徹と申します。所属クラブは雲仙 諫早南ロータリークラブ、ロータリー歴は12年目となります。

本委員会は昨年度新設された小委員会で、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の目的は、ロータリー活動の効率化やコミュニケーションの向上、会員やコミュニティとの連携強化などを図ることで、組織の使命達成を支援する重要な取り組みとなります。目指す委員会像としては、いつの間にかロータリー活動がしやすくなっていると皆様に実感していただけるような縁の下の方力持ちといった活動を行う委員会となることです。

昨年度は新設の委員会ということで、手探りでのスタートでした。最適なDX推進の方針と具体的なデジタル技術の活用ができるよう地区の情報基盤の整備を行っていきます。他地区と比較して大幅に遅れている分野でございまして、平行して導入が可能なものは前倒しで積極的に取り込みながら、2740地区に山積された問題・課題をDXで1つずつ確実に解決していければと思います。

ロータリーの使命をより多くの人々に伝え、地域社会や国際社会により奉仕するために、デジタルツールを駆使してコミュニケーションを強化し、プロジェクトの計画や実行をより効率化することが重要といった風に大きな変革の時代になってきました。

地区運営及びクラブ運営が効率化され、より多く皆様の奉仕活動を下支えできる委員会にしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会委員長

矢野 京子

諫早北 RC



地区職業奉仕委員会には日頃より多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。今年度3年目の委員長を拝命致しております矢野京子です。

職業奉仕も時代と共に形を変えてきている昨今ではありますが、ロータリーの基本理念はブレることなく目的を達成させるために日々活動しております。職業奉仕の目的を基本理念においての限りロータリーの哲学を持って変化していく時代を卓話でお伝えしていきます。

現在ガバナーが行っておりますスリランカへの支援事業も立派な職業奉仕事業のVTTであります。これからこのVTTを各クラブで実施していけるようサポートしていきたいと考えております。

まずは職業奉仕を知って頂き、理解し実践していく事がとても重要であり地区職業奉仕委員会の務めと考えております。しかしこれからはVTTを推奨している国際ロータリーがありますので、こちらの事例や手続きなどもご紹介していくべきと考えております。

今年度の地区事業としましては

- ①「地区職業奉仕WEBラーニング」奇数月第3水曜日19:00よりWEBで行います。
- ②地区ホームページへWEBで使用了資料を全てダウンロード出来るよう準備します。是非、卓話で使用してください。
- ③ガバナー月信へ職業奉仕新聞を掲載します。クラブ職業奉仕委員長は必ず委員会報告を行ってください。職業奉仕の事を会員へ浸透させてください。
- ④2026年6月6日諫早文化会館で講演会を行います。駐日カナダ大使を招いての講演会です。どうしてカナダ大使？と思われるでしょう。ロータリーとの深い関わりを話して下さい。募集は会員全員対象ですので皆さんご参加下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

社会奉仕委員会委員長

高比良 耕一

佐世保東南 RC



この度、令和7年7月1日付で国際ロータリー第2740地区社会奉仕委員長を続投させて頂く事になりました佐世保東南ロータリークラブ高比良耕一と申します。

今年度は、自身のクラブ会長も兼任と成りまして、ロータリー歴8年目にして、最大の大役と感じ奮起の年と感じております。地区社会奉仕委員会では今年の計画にて二大案を出しております。

1つ目に去年、地区社会奉仕委員会セミナーにて部活動地区移行問題への周知を開催させて頂きました。それに伴い今年は部活動地域移行問題への奉仕にご興味のあるクラブ様へ、長崎県青少年育成振興協議会メンバーと地区社会奉仕委員が同行し、卓話をしたいと考えていますので、貴クラブ様へ例会ゲストにご招待いただき、地域課題の問題をロータリアンとして如何に解決に導いて行けるか目指して行きます。

2つ目に！唐津RCよりガバナー予定でした辻幸徳様が生前の思いの中で残されました、「1人でも多くの就学困難な子供を無くす」為に社会貢献活動一環として身近に有るこども食堂と関わりたいでしょう。

これに伴いまして、地区社会奉仕委員会では各クラブ様に身近なこども食堂の情報を収集して頂き佐賀、長崎に有る全てのこども食堂が継続的に運営できるよう支援して行くと考えております。

2740地区各奉仕プロジェクト委員会様、クラブ社会奉仕委員長様皆さまへは、この課題に対してたくさんお考えを出してもらいより良い活動にしていき、地区全体で辻幸徳様の意思を継ぎ彼の足跡を辿り地域社会の発展に貢献して行きましょう。

最後に国際ロータリー第2740地区の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

ロータリーファミリー委員会委員長

徳川 清隆

唐津 RC



新しく組織され3年目となる委員会「ロータリーファミリー委員会」の委員長を拝命いたします。

このロータリーファミリー委員会は、ロータリー奉仕プロジェクトの青少年奉仕部門『インターアクト委員会』『ローターアクト委員会』『国際青少年交換委員会』『RYLA委員会』を中心に、それぞれのプロジェクト実施について、拡がり連携が取れるよう側面よりサポートし、ロータリーの青少年奉仕活動の推進を担う委員会と捉えております。

ロータリーファミリーとは、ロータリーの様々なプログラムに参加された方々、また、協力いただいた方々を総称しますが、当地区では、現在、インターアクト、ローターアクト、国際青少年交換生、RYLA参加者、米山記念奨学生、ロータリー奨学生、ロータリー事業の参加ボランティア等を指すこととしています。この方々と、ロータリーの奉仕理念のもと、青少年奉仕活動に充実と拡がりを持たせ、ロータリーとの深い関係性を作ること、ロータリアンと青少年が親密な関係を構築しロータリーの将来に向き合うことが図れると考えます。

青少年奉仕は、青少年にロータリーの奉仕理念を理解していただくことが重要で、ロータリーへの共感が持てること、そして、ロータリアンが望む次世代へのリーダー育成を目的とします。

今年度、委員会は青少年奉仕部門の各委員会のみならず地区内委員会が連携できるような事業実施が可能となるようサポートし、ロータリーの奉仕理想を掲げながら活動します。そして、皆様のご協力ご支援を賜ることで、ロータリー活動と地区発展に努力いたしますので宜しくお願いします。

地区委員長挨拶

ローターアクト委員会委員長

大串 龍大

長崎北 RC



この度、地区ローターアクト委員長を拝命致しました、長崎北ロータリークラブの大串と申します。

私は24年前に長崎北ローターアクトを卒業し、当時お世話になった恩返しをしたくて、ロータリーに入会しました。しかし、ローターアクトの現状はというと、当時と現在では、クラブの数、会員数も半分以上に減少しております。

そんな中で、年齢制限廃止、ローターアクトの位置付けがロータリーと同格とされ、運営そのものをローターアクトで賄うと言った、ある意味大人の扱いで、大変喜ばしい反面、今まで保護されていた事がされなくなる危機感も出て参りました。地区内でも各クラブ年齢も様々で、社会人のクラブもあれば、学生主体のクラブも有ります。当然世代間ギャップ等も生まれ、意見が合わないことも増えてくるだろうと思います。ですが、私はローターアクトと言う共通語、共通認識においてギャップは埋まるものと考えます。

ローターアクトの活動、理念、社会的意義、価値はどの年代であろうと普遍的であるべきで、社会奉仕、国際奉仕、異業種交流、国際交流その他、ローターアクトが貢献できることは各年齢、世代において目指す場所はローターアクトを通じて、自身の成長、社会に対する献身性、積極性等々を養い世の中に必要とされる自分磨きの場だと私は捉えています。

私自身そういうつもりで、24年前ローターアクトの活動を行って参りました。地区委員長となって、より良い方向へ導く立場となりましたが、私の思いは24年前に返りローターアクトの皆さんと一緒に「史上最高の第2740地区ローターアクト」にしていきたい、少なくともそうなるための礎を築いて参りたいと考えています。

まずは地域から、そして国内、果ては世界中のローターアクターと繋がりを持てるように私も含め皆さん一丸となって、この第2740地区ローターアクトを盛り上げて参りましょう。

前途多難な道のりではありますが、何卒よろしくお願い致します。

インターアクト委員会委員長

川島 雄輔

唐津 RC



2か月前の退任のご挨拶で申し上げましたとおり、地区インターアクト委員会委員長として3年目を迎えます。

今年度はクラブの幹事職と兼任にはなるものの、それを言い訳にしないよう、精力的に活動できる1年にしたいと考えております。

継続されている例年の行事をつつがなく執り行っていくのは当然のこととして、今年度は特に、地区研修・協議会の分科会でもお話をもらったとおり、各インターアクトクラブに、“インターアクトクラブとして奉仕活動をする意義”を見出してもらえることを目標にしたいと考えております。

1つは、他の青少年奉仕団体との交流の機会を創りあげることです。ローターアクト、RYLA、国際青少年交換留学生らと交流できる行事を、ロータリーファミリー委員会にお世話になりながら実現していきたいと考えています。特に、留学生らと交流し、異文化に触れることは、他のボランティア団体との活動では得られない経験になると思います。また、ローターアクトやライラリアンの方々との交流も、身近な先輩方の背中が見え、将来を見据える有意義な契機となることでしょう。

そしてもう1つは、提唱クラブを中心としたロータリアンとの交流の機会を増やすことです。

皆様にはあまり自覚は無いかもしれませんが、インターアクトの子らにとって皆様は普段はあまり気軽に話す機会のない地元の“偉い”方々です。皆様と機会を共にすることは、インターアクトの子らにとっても、さらにはその子らの親御さん方にとっても大変貴重で喜ばれることです。

やる気溢れる彼らから、我々もまた活力をもらえます。ウィンウィンの関係を築き上げ、互いに高め合っていきましょう。

そのような意味で、今年度は例年以上に皆様にたくさんのご協力をお願いすることになると思います。何卒宜しくお願いいたします。

地区委員長挨拶

RYLA 委員会委員長

太田 陽子

大村 RC



本年度も委員長を務めさせていただく事となりました。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。「新RYLA」としての事業開催は、今年で三年目を迎え、これまでの努力と成果を振り返る良い機会でもあります。この三年間、委員会一丸となり“ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)” に対し真摯に向き合ってきました。このプログラムは若者たちがリーダーシップを学ぶための重要な機会を提供しています。

1. **リーダーシップスキルの向上**: RYLAでは受講生がリーダーシップに関する理論や実践的なスキルを学ぶことができます。ワークショップやグループディスカッションを通じて、問題解決能力やコミュニケーション能力、チームワークの重要性を実感できます。
2. **自己認識の促進**: 自分自身の強みや弱みを理解し、成長のための方向性を見出すことは、リーダーシップを発揮する上で非常に重要です。RYLAでは、自己評価やフィードバックを通じて自己認識を深める機会が提供されます。
3. **多様性の理解**: 様々なバックグラウンドを持つ若者たちが集まることで、異なる視点や考え方に触れることができます。これにより多様性を尊重し、他者との関係を築く力が養われます。
4. **ネットワーキング**: RYLAに参加することで、同じ志を持つ仲間とのつながりを築くことができます。この人脈は、将来のキャリアにおいて貴重な資源になると思います。
5. **地域社会への貢献**: RYLAでは、リーダーシップを学ぶだけでなく、地域社会の問題に対する理解を深め、その解決に向けた行動が促進されます。これにより受講生は地域社会に対する責任感を育むことができます。

以上のことを念頭に置き、当委員会では本年度も「新RYLA事業」を開催する予定です。今後ともご支援、ご協力の程宜しくお願いいたします。

国際青少年交換委員会委員長

徳永 隆信

有田 RC



このたび、2025-26年度の青少年交換委員長を拝命いたしました有田ロータリークラブの徳永隆信です。昨年度に引き続きの任となり、本プログラムのさらなる発展のため、引き続き尽力してまいります。

昨今は応募者や引受クラブの減少、プログラムへの理解不足など課題も多くありますが、一方で参加者やその家族がこの活動の価値を実感し、自発的にその魅力を伝えてくださる姿が大きな励みとなっています。支えられる側から支える側へと意識が変化する中、この活動が単なる奉仕ではなく、ロータリー精神そのものを体現する場であると改めて感じています。

本年度は新たな取り組みとして、インターアクトやライラとの連携を強化し、青少年活動を通じて2740地区のグローバル化を促進してまいります。また、行政が実施する姉妹都市交流との連携も視野に入れ、インターアクトの協力を得て、交通機関や図書館などへのポスター掲示など広報活動にも力を入れてまいります。

さらに、派遣候補生の増加を目指し、9月14日には東彼杵総合会館にて説明会を開催予定です。

本プログラムが今後も継続・発展していくよう、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

ロータリー財団委員会委員長

吉岡 義治

佐賀南 RC



本年度、ロータリー財団委員会委員長を勤めさせていただく吉岡義治です。これまでの地区委員会での活動として、職業奉仕・RLI 推進・ポリオプラス委員会の各委員長を経験し、VTT（ボケーショナル・トレーニング・チーム）で培ってきた経験をもとに、実のある委員会にできたらと思います。よろしくお願いいたします。

2025-26年度地区重点事業として、『行動しよう！ポリオ根絶！』とあります。今年は地区大会に合わせてのポリオデーの企画を様々な方々と協力、連携し、社会によりロータリーの存在を知ってもらい、私たちの活動が世界平和に繋がっていることや、ロータリー活動を通してポリオ根絶を目指していることを認知してもらえたらと思います。

また『より平和な世界を紡ぐために！』ともあります。ロータリー財団は、国際ロータリーが寄付を大きく世界規模でするためにつくられたものです。クラブ、地区の奉仕活動をより活性化するためのものでもあります。できるだけ多くのクラブに地区補助金を活用して頂きたいです。

また、グローバル補助金を使った「7つの重点分野」に関するプロジェクトで世界的な社会貢献活動に取り組んでいければと思います。

また、皆さんに『ロータリーカードの利用推進』をお願いしたいと思います。会員の皆さんに、ロータリー活動（補助金活動等）でロータリーカードのご利用をお願いします。ご利用額の 0.3% がポリオ根絶活動資金となります。

ロータリー財団の資金の源泉は、皆さんからの寄付のみで賄われています。

ロータリー財団への寄付は、より健康で平和な地域社会を築くための活動を支援するものです。

ロータリー会員の方々からの支援がなければ、財団の活動は成り立ちません。

ロータリー財団は、世界で最も効果的かつ管理が行き届いた慈善団体のひとつとして認められています。

慈善団体の格付け評価を行うチャーターナビゲーターから13年連続で4つ星の最高評価、チャリティウォッチからもAプラスの評価をうけています。

開かれた財団を目指し、出来るだけ多くのクラブへ卓話にお伺いしたいと思っています。

補助金委員会委員長

西川 義文

大村 RC



補助金委員会には3つの小委員会が配置されており、3小委員会で与えられた目的に添った活動を行っています。

①財団奨学・学友小委員会

ロータリー財団の7つの重点項目に沿った奉仕活動のためにグローバル補助金を使っての奨学生選考を行い2024-25年度7月にはポルトガルのリスボン大学院へ高尾由香さん、イギリスのロンドン大学医学部修士課程へ清水真澄さん、9月には岸川代世君がイギリスのサセックス大学院の紛争解決コースへ留学しました。世界的な物価高と日本の円安の影響で為替相場が極端な円安で、海外での学びや生活に、大きく不利に働いています。そこで2024-25年度よりグローバル補助金を30,000ドルから40,000ドルとし、財政支援の強化を図っています。現在、スウェーデンのウプサラ大学院へ奨学生を申請中です。

②グローバル補助金・平和フェロー小委員会

各クラブからのグローバル補助金の申請や承認された補助金事業の報告書送付という終結までをTRFの指導に基づき対応しています。同様に地区補助金を使つての海外地区クラブとの国際奉仕への支援も行っています。また、国際紛争の解決等の専門人として担う平和フェローの募集やフェローとの交流に努めるようにしています。今年度はフィリピンのマカティ地区のロータリークラブを共同者として、佐世保北クラブがグローバル補助金を活用して、近郊農村地区の農業経営近代化と所得向上をソーラー発電システムにて、農水動の改善を経て農業従事者等の生活基盤向上に大きく寄与されました。更にスリランカでの女性就業支援事業を地区VTT活動資金で実行されたのを受け、グローバル補助金事業として、継続的な支援を諮っています。

③地区補助金小委員会

各クラブが行う地区補助金を使つての奉仕事業をTRFへ申請し、完了を報告するまでの間の支援や多様多様なクラブからの対応に協働して、地区補助金を利用しての奉仕活動を地区委員会として協力して行います。昨年度より、申請上限額を30万円とし、更にクラブからの拠出金を4割としたことで、多くのクラブから地区補助金申請が増え、限られた地区補助金を有益に活用できるよう委員会でも十分な協議を行い、今年度活動費用としました。

皆様からの貴重な年次寄付や特定寄付を2740地区で有効に各クラブの社会奉仕事業等に使えるよう3小委員会は頑張ります。

ロータリー財団への寄付は地元地域を含む世界中で困っている人々のために有効に使われるよう、補助金委員会として精一杯務めます。

地区委員長挨拶

資金推進委員会委員長

吉井 正司

唐津西 RC



2025-26年度、第2740地区資金推進委員会委員長を拝命致しました、唐津西ロータリークラブの吉井正司と申します。

当委員会はロータリー活動を資金面から支えている「ロータリー財団」に対する寄付を推進する委員会です。地区が設定した今年度の寄付額は一人当たり年間、ロータリー財団へ 150 ドル、ポリオプラス基金へ 30 ドル、米山記念奨学会へ 16,000 円の目標金額を達成出来るように支援する活動を行なってまいります。

当地区から毎年ロータリー財団グローバル補助金奨学生を輩出して優秀な人材を育てています。

米山奨学生からは世界でトップクラスの人材を多数輩出しています、ロータリーの悲願であるポリオ撲滅は手の届くところ迄来ています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ポリオプラス委員会委員長

野口 好太郎

佐世保北 RC



2025-26年度、第2740地区ポリオプラス委員会委員長を務めさせていただくことになりました、佐世保北ロータリークラブの野口好太郎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

ポリオプラスの目標はポリオ根絶ですが、ポリオプラスこの『プラス』の部分をもたらす恩恵も非常に重要です。1985年にロータリーがポリオプラスを開始した時、『プラス』という言葉は、ポリオ根絶の取り組みが、子どもの間に流行する他の5種類の伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の予防接種にも広がるだろうという考えを表していました。時とともに、ポリオ根絶の取り組みによる恩恵は増えてきました。

ポリオワクチンを投与するキャンペーンでは、ビタミンAのサプリメントを配布するといった健康面から命を救う手段が生まれ、ワクチンを運搬、保存するための新しい物流方法により、発展途上地域での感染症との闘いが以前より容易になりました。また、継続的な予防接種活動を通じて発症数を99.9%まで減少させました。わずかな寄付で一人の子どもの命を救うことができます。

ロータリーがポリオ根絶に投入する資金に対してビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍の額を上乗せするため、ご寄付が3倍になってポリオ根絶活動に生かすことができます。

皆様からのご寄付は地域社会や国際社会に大きく貢献しています。ポリオ根絶の達成への積極的な支援のためにも、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

資金管理委員会委員長

松田 洋一

諫早北 RC



本年度より、前任の香月委員長（佐世保中央 RC）から引継ぎ、R 財団・資金管理委員長を仰せつかりました、諫早北 RC の松田です。地区委員には同クラブの水頭知美君にお願いし、共に職務を遂行して参りますので、どうぞ宜しくお願いします。

私はこれまで、地区インターアクト委員会及び米山記念奨学委員会の委員長含め、累計 11 年程地区に出向させて頂いておりましたが、ロータリー財団委員会のことも含めて、理解不足のことが多々ありますので、委員会の諸先輩方にご意見を頂きながら、会務を遂行したいと考えております。

資金管理委員会の役割は、補助金の適正管理を行い、ロータリーの財務を健全に運営し、地域社会への貢献を最大化することにあります。その責任をしっかりと果たして、ロータリーの発展に寄与出来る様に、精一杯活動して参ります。

今回、ロータリー地区資金管理委員会に就任したことを機に、これまで以上にロータリーの活動を深く理解し、その精神を実践していく所存です。

今年度、精一杯務めて参りますので、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い致します。

米山記念奨学委員会委員長

高谷 信一

長崎出島 RC



2025-26 年度地区米山記念奨学委員会委員長を拝命しました長崎出島 RC の高谷信一と申します。今年 1 年間何卒よろしくお願いいたします。今年度で 2 年目となりますが、改めて貴重な経験を積む機会を頂き大変感謝しております。

さて、米山記念奨学事業は日本全国のロータリー合同事業で、日本国内において勉学、研究を行う外国人留学生を支援する奨学事業であり、最大の特徴はお世話クラブとカウンセラー制度です。単に奨学金を支給するだけではなく、奨学生がロータリーの例会等各種事業に参加し、ロータリアンとの交流を通じて、ロータリーへの理解を深めると同時に、日本の文化・習慣等を学び、将来、母国と日本との懸け橋となり、国際親善と平和とに寄与する人材として育てることを目標としております。

2025-26 年度は新規 11 名と継続 8 名、合わせて計 19 名の奨学生をお世話いたします。加えまして、奨学生が所属するお世話クラブ、カウンセラー並びに劉 鴻源会長を始めとする地区米山学友会を私ども地区委員がみな一丸となってサポートさせていただきます。

さらに地区には（公財）ロータリー米山記念奨学会の崎永理事、花島評議員を始めとした諸先輩方がいらっしゃいますので、皆さまのご指導も仰ぎつつ、地区組織との連携を密に、委員会活動を盛り上げていきたいと考えております。

ご承知のとおり、米山記念奨学事業は皆様一人ひとりからの貴重な寄付により成り立っております。一人でも多くの奨学生を採用できるよう、石坂ガバナーが掲げる一人当たり寄付目標金額 16,000 円を達成すべく努力したいと考えております。

目標達成のためには、地区の皆さまに本事業をより深く理解していただき、本事業の素晴らしさを知っていただく必要があると考えておりますので、地区委員会が動き、周知していきます。ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

発行：職業奉仕委員会
2025 年 令和 7 年

弐号

第2740地区 職業奉仕委員会 新聞

ロータリーでの「職業」を英語で言うと

職業を英語表記で検索すると「occupation」「job」「work」「career」とさまざまな言葉が出てきますが、ロータリーに於いての職業は「vocation」が使われています。「vocation」は「天職」や「使命感を持った仕事」というニュアンスを含む職業です。

「職業奉仕 vocational service」での第一歩は身近な地域において天職として自らの職務を日々高い倫理観を持って全うすることでの社会貢献の場で奉仕の理念を実践していく機会を作り出していく事ではないでしょうか。

職業奉仕は「I Serve」それとも「We Serve」

ロータリーに於いての職業奉仕は誕生当初より「I Serve」を主として活動してきたと言えると思います。現在のロータリーの目的第2項は職業奉仕が基礎となるもので、「ロータリアン各自」との表現は「I serve」を意味していると思われ、「ロータリーの変えてはならないもの」に値すると思います。只、合わせてロータリーは常に変化しています。2019年1月 RI 理事会での職業奉仕基本原則にて「職業奉仕はクラブと会員双方の責務」と声明され、ロータリーに於いても「We Serve」の考え方が導入されました。「DEI」を尊重するロータリーでは個人、団体に捉われず活動が出来る人が出来る場所で、職業奉仕を頻繁に実践出来る機会を創出しているのです。

第2740地区職業奉仕委員 前田 眞澄

職業奉仕 WEB ラーニング 参加者募集

2025-26 年度 7/16、9/17、11/19



水曜日 19:00 より 20:15 まで
職業奉仕の基礎を一緒に学びましょう。
参加には事前申し込みが必要です。➡



こちらの勉強会はメーキャップ対象の研修会となります

国際ロータリー 第2740地区 2025-26年度

地区大会

2025年
10月24日(金)・25日(土)



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手をとりあおう

2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ



本会議会場 唐津市文化体育館

懇親会会場 唐津シーサイドホテル



第2740地区ガバナー
石坂 和彦



唐津RC会長
木下 修一



地区大会実行委員長
山下 正雄



つむ
未来へ紡ごう ロータリーの価値！

2025-26年度 国際ロータリー第2740地区 地区テーマ

地区大会テーマ ～若者が紡ぐ、世界をつなぐ希望の絆～

国際ロータリー第2740地区の2025-26年度地区大会を辻幸徳ガバナーエレクトの急逝を乗り越えて、唐津市において開催することができるようになりました。石坂和彦ガバナーの好意と友情に感謝を申し上げます。

石坂ガバナーは今地区大会をロータリーが若者とともに歩む姿勢を明確に打ち出し、未来に希望をもたらすような発信の場にしたいと考えられています。また、参加者すべてが大いに楽しめて心に残る大会を目指したいと切望されています。

今回の地区大会は国際的に活躍する若者や地区の若者が大会進行に加わり、従来の形式と一線を画す、記憶に残る大会を志向し、ロータリーの価値を次世代に実感として伝える場にしたいと思います。ぜひ、ロータリアンの皆様、唐津色もふんだんに盛り込んだ、地区大会への参加を楽しみにして唐津の地においでください。第4グループ全員でお待ちしています。



国際ロータリー第2740地区 ホストクラブ: 唐津ロータリークラブ

国際ロータリー第2740地区 2025-26年度 地区大会事務局

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館地下1階

からつ勘右衛 (かんね) 話

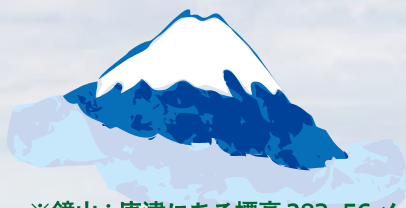


【第2話 日本一の山】

今日は、かんねどんの、日本一の山の話ば、しゅうだい。

ある日、一人の若者が「日本一高か山はどこにあるか知っとるかい」と、尋ねました。するともう一人の若者が「そりゃ、駿河（静岡県）の富士山ばい。あの山より高か山はなか」と、言いました。その話を聞いた勘右衛は「唐津ん近くに日本一の山があるとは知らんとは、情けなか」と、言いました。「そんな山はどこにあるか言うちみんかい」と言う若者に「そんなくらのことも知らんで、恥ずかしゅうはなかか。中町の竹屋のうなぎば賭けるなら、教えてもよか」と、勘右衛は言い、若者たちは賭けに乗ってきました。勘右衛は「そんな山はな、鏡山（かがみやま）たい」と言いました。「鏡山？鏡山がなんで日本一高か山かい？あん低っか山がなんで日本一かい。まわりの山より低っかじゃなかか」という若者に、勘右衛はこう言います。「お前達は毎日鏡山ば見とるけん、低っかて思うところが、よう考えてみる。鏡山は名前の通り、今はかがんじょ（かがんでいる）ばってん、あん山が立ち上がってみろ。どんぐらい高くなるか見当もつかんぞ」この話のやり取りを脇で聞いていた若者達は「勘右衛の言う通りばい」と、勘右衛の意見に同意しました。これにて、この賭けは勘右衛の勝ちとなり、勘右衛は竹屋のうなぎをただで食べました。

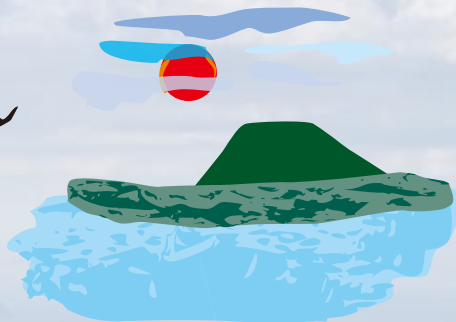
今日の話は、こいばっかい。（富岡行昌 著 『かんねばなし』より）



※鏡山：唐津にある標高 283.56 メートルの山。唐津市のシンボリック存在であり、山頂の展望台から唐津湾や虹の松原を望む絶景は一見の価値あり。



※中町の竹屋：創業明治 10 年（1877 年）うなぎ料理店。大正期に建てられたモダンな 3 階建ての木造家屋は文化庁の登録有形文化財にも指定されています。



編集後記

今月号より 12 号まで、「風の画家」中島潔画伯の絵が表紙を飾ります。中島画伯は地区内インターアクトクラブの中でも有数の活動実績を誇る唐津西高等学校の卒業であり、描かれる絵は故郷唐津への憧憬をテーマにした絵が多く、それらの絵は唐津の原風景そのものです。地区大会にお越しの際は、画伯の絵を思い浮かべながら唐津の地を散策でもしていただければ幸いです。

月信委員会副委員長 松尾 圭祐

国際ロータリー 2740 地区
ガバナー事務所

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館地下1階
TEL 0955 (53) 9061 FAX 0955 (53) 9062
E-mail: ri2740tsuji@vc.people-i.ne.jp

WEBサイト▶

